

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	管理栄養士の病棟配置における効果
	研究目的	平成 28 年度診療報酬改定で、栄養食事指導料対象にがん患者が追加された。当院は平成 29 年 6 月から管理栄養士の病棟配置を開始し、昨年度の本学会において病棟配置後の栄養指導件数の増加や新規業務獲得、他職種との連携強化を報告した。今回は病棟配置後の移植患者の栄養状態への影響を検討する。
	研究対象者	当院で同種造血細胞移植を行い、生着不全や死亡を除き自宅退院できた患者を対象とする。病棟配置前の平成 27 年度（45 人）と病棟配置後の平成 29 年度（52 人）
	研究期間	西 暦 2020 年 3 月 3 日 ～ 西 暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(食事摂取記録) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊藤 洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	栄養管理科、薬剤科、看護局、歯科口腔外科、血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし